

# IHIグループのESG経営

**IHI**

2021年11月9日

株式会社 **IHI**

代表取締役社長 井手 博

# 目次

1. IHIグループのESG経営
2. 気候変動への対策
3. カーボンニュートラル社会への移行
4. 人権の尊重
5. 多様な人材の活躍

# 1. IHIグループのESG経営

将来のありたい姿

## 自然と技術が調和する社会を創る

暮らしの豊かさの実現

社会課題の解決

脱CO<sub>2</sub>の実現

防災・減災の実現

人権の尊重

多様な人材の活躍

ステークホルダーからの信頼の獲得

経営理念

「技術をもって社会の発展に貢献する」 「人材こそが最大かつ唯一の財産である」

『IHIグループは事業活動を通じて、  
社会課題の解決を果たし  
持続可能な社会を実現する』

IHIグループのESG経営

## 2. 気候変動への対策

カーボンニュートラルの実現のために、CO<sub>2</sub>排出量を削減する

### ■ 事業活動での実現

#### 生産活動における削減

- 先駆的技術の積極的採用
- 燃料転換
- 再生可能エネルギー利用

#### 調達における削減

- 環境に配慮した取引先の積極的な採用

### ■ 製品・サービスを通じた実現

#### 既存技術による削減

トランジション

- 既存設備の高効率化
- 製品の軽量化・電動化
- 再生可能エネルギーの活用

#### 新技術による削減

トランスフォーメーション

- 水素・アンモニアの利用
- カーボンリサイクルの実現

## IHIカーボンニュートラル2050

**IHIグループは、2050年までに、バリューチェーン全体で  
カーボンニュートラルを実現します。**

## 3. カーボンニュートラル社会への移行

**IHI**

### ■ 製品・サービスを通じたカーボンニュートラルの実現

#### トランジション

#### 既存発電所の高効率化

- 高度な保守技術による運用高度化
- バイオマス燃料転換

#### 再エネ電力需給システム

- 蓄電池とEMS※ を用いて再エネ電力の需給調整の実現



IHI Terrasun Solutions Inc.が提供する  
Energy Storage Management System

※ EMS : Energy Management System

#### 航空部品の軽量化・高耐熱化

- 複合材ファンブレード, セラミックス基複合材料 (CMC) 技術開発の加速
- 次世代エンジンへの概念設計段階からの参画



※JAXAの「En-Coreプロジェクト (2018～2023)」  
において共同研究を実施中

#### 電動ターボチャージャー



Mercedes-Benz AG GLC F-CELL向け  
電動ターボチャージャー  
出典：株式会社IHI



燃料電池システム向け  
電動ターボチャージャー「ETC M」

### 3. カーボンニュートラル社会への移行

#### ■ 製品・サービスを通じたカーボンニュートラルの実現

#### トランスフォーメーション

##### ボイラ・ガスタービンでのアンモニア混焼

- 商用の大規模発電所におけるアンモニア混焼実証事業を開始



実証事業を行うJERA碧南火力発電所  
(愛知県碧南市)  
写真提供：JERA

##### アンモニア混焼から専焼へ

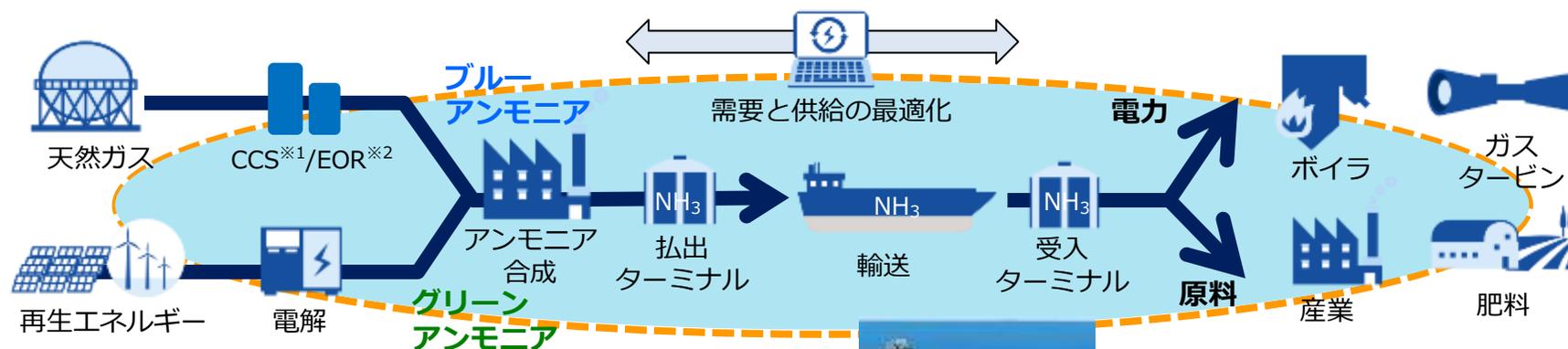
世界初

- 熱量比率70%の液体アンモニアを安定燃焼



液体アンモニアと天然ガスを混焼した  
2,000kW級ガスタービン (当社 横浜事業所内)

##### アンモニアバリューチェーン



※1 CCS : Carbon dioxide Capture & Storage (二酸化炭素回収・貯蔵)

※2 EOR : Enhanced Oil Recovery (石油増進回収)

### 3. カーボンニュートラル社会への移行

#### ■ 製品・サービスを通じたカーボンニュートラルの実現

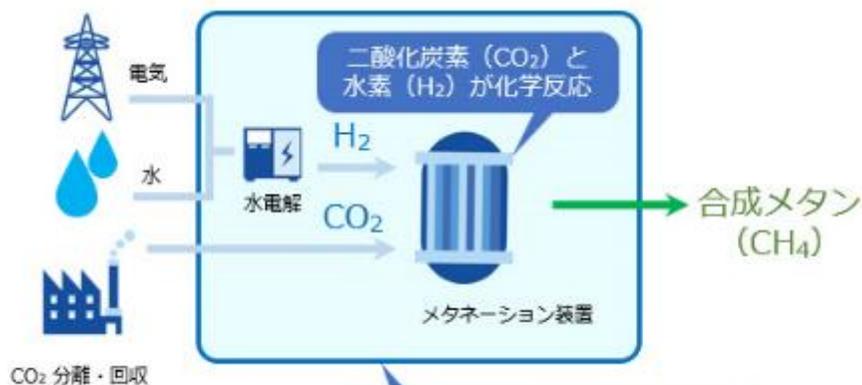
#### トランスフォーメーション

#### カーボンリサイクル

#### メタネーション

- お客様の研究開発センターへメタネーション装置初号機を納入

アサヒグループ  
研究開発センター内に  
設置した  
メタネーション装置



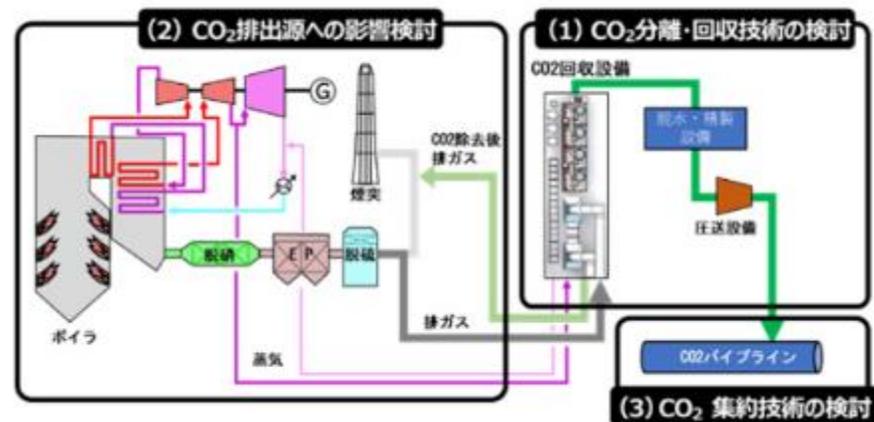
当社納入範囲

メタネーションの合成フローと当社納入範囲



#### CO2 分離・回収

- 火力発電所におけるCO2分離・回収およびパイプライン輸送に向けた調査事業を受託



CO2分離・回収 調査対象の全体図

#### DAC※2

- 大気中からのCO2の直接回収

※1 CCUS: Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage (CO2回収・利用・貯蔵)

※2 DAC: Direct Air Capture

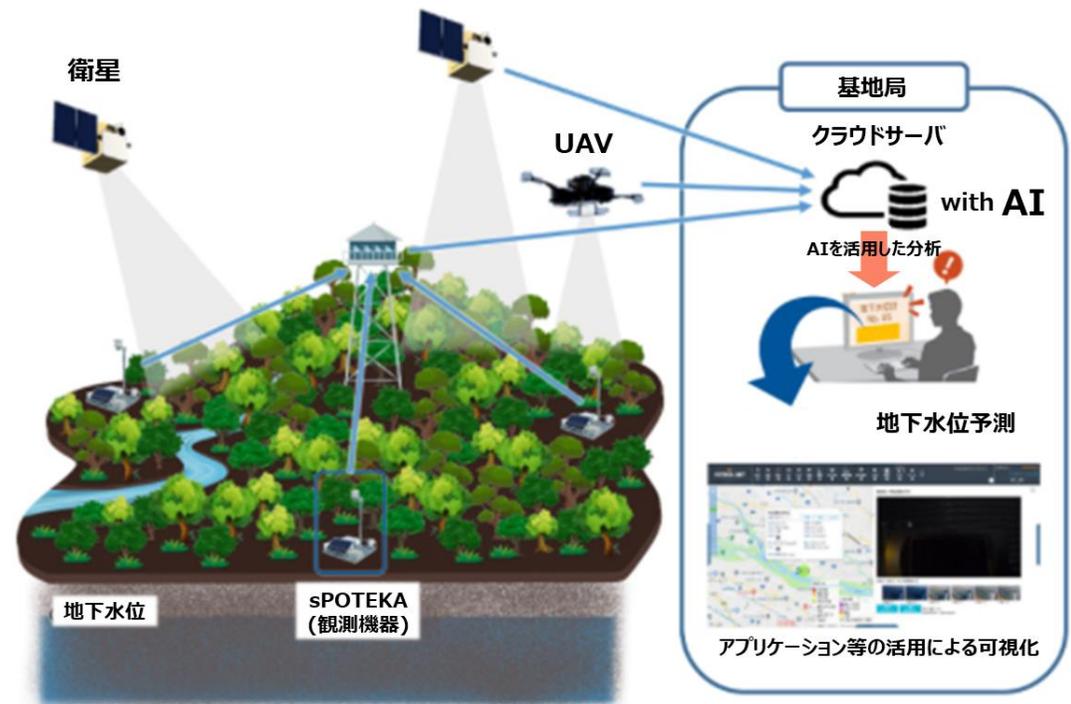
### 3. カーボンニュートラル社会への移行

#### ■ 製品・サービスを通じたカーボンニュートラルの実現

#### トランスフォーメーション

##### 熱帯泥炭地※<sup>1</sup>コンサルティング

- 住友林業株式会社との協業で、「熱帯泥炭地コンサルティング」と「質の高い炭素クレジット※<sup>2</sup>」の事業化を目指す
- 熱帯泥炭地の地下水位のモニタリングおよび予測を通じて泥炭火災を防止し、CO<sub>2</sub>排出量の抑制と森林保護に取り組む



地下水水位予測システムイメージ図

※1 熱帯泥炭地  
植物の遺骸が水中で分解されずに堆積して出来た土壌

※2 炭素クレジット  
温室効果ガスの排出削減量証明  
排出量を企業間や国際間でクレジットとして取扱

## 4. 人権の尊重

IHIグループは、社会課題の解決に貢献していくために活動しています。  
そのベースとして、「IHIグループ人権方針」を定めました。

### 重要な人権課題

- 強制労働の禁止
- 働く人々の健康で安全な職場の確保
- 児童労働の禁止
- 働く人々の基本的な権利の尊重
- 均等な機会の提供
- 差別・ハラスメントの禁止

### サプライチェーンマネジメントの強化

- お取引先との対話・モニタリングによるCSR調達の推進

### グローバルで一元的に人権リスクを管理できる体制の構築

## 5. 多様な人材の活躍

### 多様な人材の活躍における重要課題

- 多様な人材の獲得
- 従業員のモチベーションとエンゲージメントの向上
- 異なる価値観，経験や専門性などの融合

### 多様性に富んだ人材の活躍が可能な環境づくり

- 経営幹部との直接対話など，目指す姿の共有・浸透
- 属性，スキル，タスクの多様性の促進
  - ・セカンドジョブ
  - ・社内副業制度
  - ・スマートワーク



社内副業制度  
成果発表会



社内副業



経営幹部との直接対話

### グローバルに適用する仕組みと体制の強化

「自然と技術が調和する社会を創る」

**IHI**

Realize your dreams